

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:kenkourou@dumptcg.org

CTGの建交労 とちぎ

フランスで同時多発テロが発生。国内でも「戦争法」の成立によってテロの危険が高まっています。犠牲者がでる前に「戦争法」を廃止させよう。そのために野党は共闘して「国民連合政府」を！

ダンプ支部大会

四期連続組合員拡大 さらなる発展をめざして



「次世代のため戦争法廃止を」と訴える工藤委員長



今期の活動報告、運動方針を聞く参加した組合員

十一月十五日、佐野市「あくどプラザ」で第三十五回ダンプ支部定期大会を組合員百二十人の参加で開催しました。
工藤委員長はあいさつのなかで、「安倍政権は国民の反対を押し切つて『戦争法案』を強行採決した。私にも孫がいるが、日本が再び戦争をする国になるのではないかと強い危機感をもっている。沖縄の基地問題、原発再稼働など、国民の声を聞かない安倍政権にたいする怒りを持續させ、来年の参議院選挙で民意を示そう」と訴えました。

来賓の栃木県労連阿波議長は、最高裁に上告中のいすゞ自動車争議への支援を訴え、参加者らは会場で署名を行いました。

また、県本部執行委員の菅谷徹也さんは、自身の松原運輸争議を報告し裁判傍聴など支援を訴えました。

川田副委員長はこの一年の活動を報告、組織拡大について「四年連続純増で大会を開催することができた。しかし組合員の高齢化は進んでおり、いま六〇代、七〇代の組合員が大量に引退すれば、大幅な組織減になる」と説明、石井書記次長は運動方針のなかで「いまこそ労働条件の底上げを実現して若者に魅力ある業界にする必要がある」と訴えました。

マイナンバー制度 学習会を開催

大会では「マイナンバー制度学習会」を行いました。
マイナンバーは、住民登録をしているすべての人に十二桁の番号をつけ、個人情報を利用しようとするものです。講師を務めた山内書記長は「組合員の仕事、生活に様々な影響を与えることになり、組合としても一定の方針を示す必要がある」とし、送られてくる通知カード、個人番号カード申請への対応、来年の確定申告相談や組合員の個人番号管理にたいする組合事務所の姿勢などを説明（二面参照）し、



学習会は参加者も真剣そのもの。雨の中車いすで参加した組合員も。感謝です。

参加した組合員の声



五十畑孝一さん
「私が組合に入ったのはもう三〇年以上前、まだバリバリの好青年でした。年一回ここにくると年齢を感じます」
森下清さん
「組合には長年入っているけど今回初めて参加しました。マイナンバーの学習会はよかったです。俺は受け取り拒否したから拒否できるんだよ」
佐藤知美さん
「旦那が仕事でこないんで代わりに来ました。感想？うーん、むずかしかったけど勉強になりました。それと体格のいい人（肥満？）が多いと思いました」
山田和義さん
「組合に入ってからやることがよくわからなかった。大会に来て初めて知ることが多かった」
田村浩さん
「参加者が多くてよかったです。でも自分も含め高齢者が多いね。来年はもっと若い者に参加してもらいたい。毎年学習会は参考になる」